2021年度　日本工学院八王子専門学校											
一級自動車整備科											
応用測定工作実習											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	24	単位	0
担当教員	圷裕光、須藤竜二、大瀧昇利、清水拓也、非常勤講師			実務経験	有	職種	一級自動車整備士				

授業概要

エンジン出力・駆動力やセンサの特性等の測定作業、手作業・旋盤・フライス盤・溶接などによる金属加工作業を実習する。

到達目標

２年次に習得した測定、加工の知識・技術を更に発展し、３年次講義科目での教科書知識の確認として、様々なメーカーの実習車に搭載されている電子制御式エンジン、サスペンションの測定と、工作機械の取り扱いについて、常に安全とチームワーク、主体性を意識して取り組むこと、また、４年次科目でもあるインターン実習に向けて、基本的な作業の反復を行うことなどを目標とする。

授業方法

様々な測定機器の取り扱い方法と測定・調整作業と、加工機械の取り扱い方法と測定・調整作業を加工図面を基に各々が主体的に行動し、安全やチームワークを第一に考え、一級自動車整備士として常に最新技術を意識しながら理解出来るようになることを目指す。

成績評価方法

試験を総合的に評価する（100%）

履修上の注意

学生の主体的な協働コミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や授業態度には厳しく対応する。授業に出席するだけではなく、社会への移行を前提とした受講マナーで参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや自動車整備業界の状況などを概説するので、各々情報を収集し起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。また出席確認時に遅刻の場合4時間の欠席となる。

教科書教材

適時レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。/実習車、実習教材など。

回数	授業計画
第１回	ホイールアライメント・シャシダイナモ：機器取扱、測定調整について理解する
第２回	金属切断、旋盤加工、溶接作業：金属加工作業、加工仕上げについて理解する
第３回	測定・加工まとめ：全体のまとめ